



平成27年7月31日

各 位

上場会社名 NSユナイテッド海運株式会社  
 代表者 代表取締役社長 小島 徹  
 (コード番号 9110)  
 問合せ先責任者 企画グループリーダー 中田 義文  
 (TEL 03-6895-6411)

## 業績予想ならびに配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成27年4月30日に公表した業績予想ならびに配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成28年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	77,000	2,700	1,400	1,200	5.20
今回修正予想(B)	71,000	3,300	3,000	2,800	12.06
増減額(B-A)	△6,000	600	1,600	1,600	
増減率(%)	△7.8	22.2	114.3	133.3	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成27年3月期第2四半期)	79,755	5,610	5,970	5,318	23.05

(注1) 上述の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値とは異なる場合があります。

(注2) 上述の今回修正予想(B)の1株当たり四半期純利益は、平成27年5月21日付けで開示した「NSユナイテッド海運株式会社によるNSユナイテッド内航海運株式会社の完全子会社化に係る株式交換契約締結に関するお知らせ」にてお伝えした通り、当社による当社普通株式の新規発行分を織り込んで期中平均株式数を算出しています。

#### 修正の理由

ドライバルク運賃市況は、足許では非常に緩やかながら改善の兆しを見せているものの、市況軟化の根本的要因である船腹供給過多が早急に改善されるものとは期待し難く、第2四半期以降も引き続き市況は低水準で推移することが見込まれます。一方、円ドル為替相場につきましては、今後も安定的に推移するものと見込まれます。

上述の事業環境見通しの下、本日別途発表した第1四半期連結累計期間の業績を踏まえ、平成27年4月30日付けで公表した平成28年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想を上述の通り修正いたします。第2四半期の前提条件は、対ドル円換算率を123円(期初前提比8円安)へと見直し、燃料油価格は期初前提と変わらず内地C重油価格トン当たり450ドルのままとしています。

なお第3・4四半期につきましては現在精査中であり、通期業績予想は10月末の平成28年3月期第2四半期決算短信の開示と併せて皆様にお知らせいたします。

### ● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成27年4月30日発表)	—	—	—	—	—
今回修正予想	—	0.00	—	—	—
当期実績	—	—	—	—	—
前期実績 (平成27年3月期)	—	0.00	—	9.00	9.00

(注1) 上述の配当予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値とは異なる場合があります。

(注2)当社は定款において第2四半期末および期末日を配当基準日と定めています。

#### 修正の理由

当社は年間配当性向を「連結業績ベースの概ね25%」としており、また中間配当額につきましては上期の業績ならびに下期業績見込の見直し等を考慮して判断することとしています。

前述の「業績予想の修正について」にてご説明した通り、当社業績予想の上方修正分は主に円ドル為替の円安傾向に伴う損益改善効果を反映したものであり、ドライバルク運賃市況は今後も不透明感が強いことから、第2四半期末配当につきましては無配とするとともに、期末配当につきましては前回予想と同じく未定といたします。

以上